

「ゴミって何だろう？」 親子教室

生3 - 環 中島 洋吉

こうべ環境未来館主催の環境学習講座 平成17年度第3回の『ゴミってなんだろう？ 皆で考えてみよう』が、7月18日(月)に神戸市環境局西事業所の協力、親子57名(子ども27名大人30名)の参加で実施されました。

私たちの家からは、毎日たくさんのごみが出されています。これらのゴミは、誰が集めて、どうやって処理されているのでしょうか？そして最後はどうなるのでしょうか？ゴミを減らし、資源を大切にするためには何ができるのかなど、環境にやさしい暮らしについて考えてもらう企画でした。



パッカー車の構造を見学する親子たち

当日は挨拶やスケジュール説明の後、屋外の駐車場で環境局西事業所職員の方から、パッカー車の構造やパッカー車に積みことができるごみの量、参加した子どもたちによるごみ積み込みの実演、危険物(油、農薬など)の飛散実演などを見学後、研修室に移動してごみの出し方、減量の仕方、ひまわり収集、ひまわり100番の説明、を聞いたり、ワケトンビデオを見たりしました。

午後からは、子ども組と大人組に分かれて、資源リサイクル工場の見学と、ごみ分別ゲームをした後、参加者全員に渡された質問の答えを、未来館内に展示してあるパネルから探します「こうべ環境未来館探検ゲーム」に挑戦してもらい、答え合わせとふりかえりシート記入で環境学習講座をおえました。

最後のまとめで、子どもたちに「ごみてなんだっけ」と質問したら、「ごみは人間の出すもの」「ぐちゃぐちゃにして出すとごみ、分別して出すと資源」という答が返ってきて、今日の疲れがいっぺんに吹き飛んだ思い

がしました。ふりかえりシートに書かれた一部を紹介すると「子どもの感想」
 ・ ごみが「資源」に変わることが分りました。ごみを分別することは、すごいなと思いました。パッカー車にごみを初めて入れたことが楽しかった。(9才男児)
 ・ ごみなんて捨てたら終わりだと思っていたけど、捨てた後も、きちんと処理してくれる人いたことを知りました。パッカー車の仕



ワケトンの縫いぐるみに集まった子どもたち

組みが良く分りました。最後に館内の探検が楽しかった。(11歳女児)

・ おもちゃの縫いぐるみなどをフリーマーケットなどに出して、ものを大切にしようと思いました。資源リサイクルセンターを見学し、探検をしたことが楽しかった。(10才女児)

・ ガスボンベのガスが入ったままだと、爆発してしまうなんて知りませんでした。リサイクル、リデュース、リユースなんて言葉があるなんて知らなかったよ。工場見学をしたことが楽しかった。(8才男児)

・ 3Rのことがとても分りました。バイオマス発電のことが始めて分って良かったです。ごみはうまく分別したら資源になることが良く分りました。環境未来館の探検がとても勉強になりました。楽しかった。(11歳男児)

「大人の感想」

・ ごみの分別がはっきり分りました。省エネの取り組みに付いて具体的に何かからすれば良いか参考になった。家族みんなで取り組んでいけそうなのでこれからも楽しみながらごみを減らしリユース・リサイクルしてゆきます。(39才女性)

・ このようなセンターを作らなければならないことを非常に恥ずかしいと思う(分別すればすむこと)。家の周りでも分別に全く意識のない人が多くそれは若い人に限らない。ある程度収支に余裕のある自治体であるからできること。とにかく分別を厳しくすべきとは思わないが、他の場所でもやっている様にごみ袋を有料として、その袋でしか出さない等の荒治療がいるのでは？センター内の見学コース、展示物は見やすく内容も充実していた良かったと思います。(34歳男性)

・ 今まで何げなく出していたごみに付いて、改めて考えさせられました。捨てることごみにすることは簡単ですが、そのごみを如何にして減らしていくか、自分の中でこれから生活していく中で工夫したいと思いました。実物のパッカー車を見たり、説明を受けたり楽しかったです。普段、目にすることの多いパッカー車に親しみを持つと同時にごみ出しのルールを守ろうと思いました(37才女性)
 など貴重な感想がたくさん寄せられ、企画のねらいがほぼ達成出来たのではないかと思います。